

令和03年度

政務活動費 共通経費 整理表

会派等の名称	奥州みらい
--------	-------

政務活動費(共通経費)支出整理票			整理番号	03 - 01
			支出整理日	令和 03 年 09 月 06 日
令和03年度	会派等名	奥州みらい	支出項目	資料作成費

共通経費額 (按分対象額)	4,080	円
------------------	-------	---

使途： 消耗品費

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	インクカートリッジ	R03-05-26	1,155		1,155
2	インクカートリッジ	R03-07-01	1,155		1,155
3	コピー用紙	R03-08-13	360		360
4	コピー用紙	R03-09-03	1,080		1,080
5	クリップ、綴り紐	R03-09-06	330		330
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			4,080	0	A 4,080

共通経費 按 分 表	連番	議席番号	議員名	割合(B)	按分額(A×B)
	1	7	千葉 康弘	1/5	816
	2	12	廣野 富男	1/5	816
	3	13	及川 佐	1/5	816
	4	17	高橋 政一	1/5	816
	5	23	小野寺 重	1/5	816
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
按分人数		5	合 計		4,080

(注意) 按分額の合計は、端数整理(円未満切り捨て)により共通経費額と一致しない場合があります。

備考	

新製品が安い KS ケーズデンキ

お買上げ明細

2021年 5月26日(水) 10時49分

-<明細>-			
1 ●インクカートリッジ	・ 持帰		
エプソン			
4548056365880 ICBK46		10%	
	1点		¥1,155
1点/合計			¥1,155
税率別内訳 /	課税対象額	10%	¥1,155
	(内消費税額)		¥105)

[0545021-054403213-2310004236465]

領収証

2021年 5月26日(水) 10時49分

奥州みらい様

金額	¥1,155
	(内消費税等 ¥105)
税率別内訳 /	課税対象額 10% ¥1,155
	(内消費税額 ¥105)

但し、お品代として
上記金額正に領収致しました。

-<決済内訳>-			
現金			¥1,155
	(内消費税等)		¥105)
現金お預かり			¥1,155

ケーズデンキ奥州水沢本店
電話番号 0197-24-1515
販売担当者403213 山田 美保

新製品が安い KS ケーズデンキ

お買上げ明細

2021年 7月 1日(木) 16時49分

-<明細>-			
1 ●インクカートリッジ	・ 持帰		
エプソン			
4548056365880 ICBK46		10%	
	1点		¥1,155
1点/合計			¥1,155
税率別内訳 /	課税対象額	10%	¥1,155
	(内消費税額)		¥105)

[0545021-054403213-2310005883866]

領収証

2021年 7月 1日(木) 16時49分

奥州みらい様

金額	¥1,155
	(内消費税等 ¥105)
税率別内訳 /	課税対象額 10% ¥1,155
	(内消費税額 ¥105)

但し、お品代として
上記金額正に領収致しました。

-<決済内訳>-			
現金			¥1,155
	(内消費税等)		¥105)
現金お預かり			¥1,155

ケーズデンキ奥州水沢本店
電話番号 0197-24-1515
販売担当者403213 ヤマダ



DCM株式会社 DCMホームマック
水沢店 0197-51-7161

* 令頁 4又 言正 *

2021年08月13日(金)17:48 レシ0002

責No81089046カワラ

016 DCM コピー用紙 A4 ¥360
合計 ¥360
(内10%タイヨウ ¥360)
(内10% ¥32)
(内税計 ¥32)
(税合計 ¥32)

お預り ¥360
お釣り ¥0
(消費税等 ¥32)

お買上点数 1点

返品・交換の際は、
当レシートをご持参下さい。

*印は軽減税率(8%)適用商品です



レシートNo6092

店No01334



DCM株式会社 DCMホームマック
前沢店 0197-56-7722

* 令頁 4又 言正 *

2021年09月03日(金)17:17 レシ0002

責No51372115ナカザワ

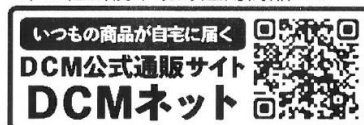
016 DCM コピー用紙 A4
3コX単360 ¥1,080
合計 ¥1,080
(内10%タイヨウ ¥1,080)
(内10% ¥98)
(内税計 ¥98)
(税合計 ¥98)

お預り ¥10,000
お釣り ¥8,920
(消費税等 ¥98)

お買上点数 3点

返品・交換の際は、
当レシートをご持参下さい。

*印は軽減税率(8%)適用商品です



レシートNo6826

店No01320



領 収 書

イオン前沢店 1371
TEL0197-47-3142 レシ2 52948
2021/09/06(月) 16:25
メタルダブルクリップ中 100
メタルダブルクリップ小 100
セル先綴紐黒45cm20本 100
小計 3点 300
消費税 30
合計 ¥330
(10%対象 330)
お預り ¥330

商品不良は返品・交換承ります。
お客様ご都合の場合レシートと商品
(開封済とお客様注文除く)を下記
期間内にお持ちください。

<返品・交換期間>

雑貨 2021/09/06~2021/10/07

食品 2021/09/06(※)

※店外に出られていない場合に限る



政務活動費 共通経費 整理票			整理番号	05 - 01
			支出整理日	令和 03 年 12 月 14 日
令和03年度	会派等名	奥州みらい	支出項目	広報費

共通経費額 (按分対象額)	520,272	円
------------------	---------	---

使途：奥州みらい会派会報「奥州みらい通信 No.4～5」の発行と配布

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	新聞折込料 (No.4)	R03-07-19	109,138		109,138
2	印刷代 (No.4)	R03-08-05	156,000		156,000
3	振込手数料 (No.4)	R03-08-05	880		880
4	新聞折込料 (No.5)	R03-12-10	102,374		102,374
5	印刷代 (No.5)	R03-12-14	151,000		151,000
6	振込手数料 (No.5)	R03-12-14	880		880
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			520,272	0	A 520,272

共通経費 按分表	連番	議席番号	議員名	割合(B)	按分額(A×B)
	1	7	千葉 康弘	1/5	104,054
	2	12	廣野 富男	1/5	104,054
	3	13	及川 佐	1/5	104,054
	4	17	高橋 政一	1/5	104,054
	5	23	小野寺 重	1/5	104,054
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
按分人数		5	合 計		520,270

(注意) 按分額の合計は、端数整理 (円未満切り捨て) により共通経費額と一致しない場合があります。

備考	

NO. 73

領収書

奥州市議会 奥州みらい 様

金額

¥109,138

令和3年7月19日 上記の金額正に領収いたしました

但 折込代として

内 訳

現金

税抜金額 99,216

消費税額 9,922

株式会社 北東北読売IS

代表取締役社長 奥井 徹

〒020-0836

岩手県盛岡市津志田西一丁目23番8号

TEL 019-635-5866

岩手県南営業所

〒023-0001

岩手県奥州市水沢御町4番10号

TEL 0197-25-3277

極 者

2021.4.1

収入印紙

200円

現金用

お振込方法

いつもJAバンクをご利用いただきありがとうございます。

この振込金受取書（兼手数料受取書）は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。

お振込金額のうち決済未確認の小切手は、下記のとおりですが、万一不渡りとなったときは、この振込を取り消し、小切手は、権利保全の手続をしないで当店において返却します。

[illegible]

取扱店
岩手ふるさと農協前沢支店

帳票番号ZJS-KW0113 3/3 2015.05

NO. 167

領収書

奥州市議会 奥州みらい 様

金額

¥102,374

令和3年12月10日 上記の金額正に領収いたしました

但 折込代として

内 訳	現金
税抜金額	93,068
消費税額	9,306

株式会社 北東北読売IS

代表取締役社長 奥井 徹

〒020-0836

岩手県盛岡市津志田西一丁目23番8号

TEL 019-635-5866

岩手県南営業所

〒023-0001

岩手県奥州市水沢御町4番10号

TEL 0197-25-3277

扱 者

2021.4.1

現金用

電信文書

お振込方法

[illegible][illegible]

合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。

なおお振込金額のうち決済未確認の小切手は、下記のとおりですが、万一不渡りとなったときは、この振込を取り消し、小切手は、権利保全の手続をしないで当店において返却します。

現金類	
未決済小切手	枚
貯金類	

取吸店

石手ふるるやと豊竊盗

发票编号 ZJS-KW01133/3 2015.05

奥州みらい通信 NO 4

6月定例議会を振り返って

令和3年7月15日発行

発行：奥州市議会 会派 奥州みらい
発行日：2021年7月15日
連絡先：高橋政一 TEL 080-5574-9414
奥州みらい代表 奥州市議会議員 小野寺 重
同 高橋 政一
同 及川 佐
同 廣野 富男
同 千葉 康弘

新型コロナウイルス感染対策市長に申し入れ行う 会長 小野寺重



新型コロナウイルス感染対策は、県内各市町村で様々な対策が進められています。PCR検査のための発熱外来の設置や抗原検査キット配置しての定期的な検査など、独自の対策を実施している市町村もあります。

また、最大感染対策である新型コロナワクチンの接種が始まり、接種スピードの違いが不安や不満となって表れているのも事実です。

奥州市でも、PCR検査の体制を確立することや抗原検査の実施をする必要があり、ワクチン接種についても個人開業医の協力が少なく、65歳以上が2回の接種を終えるのは9月末という状況がありました。そのため、会派で論議をして「市長に緊急申し入れをする」ことにしました。

新型コロナウイルス感染症対応に対する緊急申し入れ(5月26日)

1 各施設において、抗原検査・PCR検査を実施し感染拡大防止に努めること

- (1) 高齢者施設職員だけでなく、医療機関職員・障がい者施設職員への抗原検査を定期的に行い、必要に応じてPCR検査を実施すること
- (2) 幼保施設職員、小中学校職員、放課後児童施設職員についても同様に検査をすること
- (3) 一定地域で感染経路不明者が多い場合は、該当地域で同様の検査を実施すること

2 ワクチン接種の迅速化をはかり、市民の安全・安心に資すること

- (1) 集団接種会場の規模拡大または増設をし、個人接種医療機関についても拡大すること
- (2) 医師会を始め三師会、看護協会などと連携を強め接種体制を拡充・強化すること

市からの回答(6月4日)

1 について

障がい者福祉サービス事業所に従事している職員、幼保施設職員については、随時検査ができる

よう抗原検査キットを配布する。医療機関職員については、2回目の接種が進んでいることから検査は必要ないものとする。放課後児童クラブ・放課後児童教室・小中学校職員については従来の感染対策に万全を期すこととし、今後の状況を見ながら検討していきたい。

- 2 集団接種会場は、規模拡大、会場の増設、開設日の増加を検討する。個別接種の拡大については、医師会に対し開業医へ協力要請をお願いする。医師会とは医師派遣で連携しており、薬剤師は特設会場への派遣依頼、歯科医師会には接種協力が必要な場合の対応をお願いしている。看護協会では、特設会場で従事する看護師を確保してもらっている。

現在、抗原検査キットは高齢者福祉施設、障がい者福祉サービス事業所、幼保施設に配置されており、今後の配置拡大が求められている。ワクチン接種は集団接種2会場のブースを2倍にし、新たに集団接種会場を1会場増設することとしている。



右から小沢市長、小野寺重会長、
高橋政一幹事長、及川佐議員、千葉康弘議員

悠悠館のプール使用料 2.3 倍に

幹事長 高橋政一



悠悠館は、胆沢町時代に保健福祉向上のため、まごころ病院、ぬくもりの家とともに「達者の里」構想の中でつくられました。生き生きプールは、トレーニングルームと共に健康増進を図る目的でつくられており、歩くコースと泳ぐコースの2コースだけの小さなプールです。利用者はほとんど高齢者であり、杖を使う人車いすで来る人もいました。健康を考えてのことで、プールとシャワーが使えます。そのプールの使用料が4月から2.3倍になったのです。

昨年度までは、65歳以上10回券1,750円（1回使用料175円）であったものが、10回券4,000円（1回使用料400円）となっていました。65歳以上の半額割引を廃止したためです。

類似施設としては、江刺クリーンパークがあり、プール6コース、トレーニングルーム、お風呂、休憩室が利用でき、10回券5,000円です。65歳以上は、半額で2,500円（1回使用料250円）となっています。

市は、財政健全化のための使用料見直しをしたため、高齢者優遇はしないこととしました。条例で決めたのだから議会も認めたことになります。江刺

クリーンパークは市の施設でないで、比較検討はしていないとしています。

市民説明会では、高齢者優遇の廃止は説明されていなくて、利用者にとっては2.3倍への突然の値上げであり、激変緩和措置を強く要請します。



生き生きプール

前沢診療所の存続を

千葉 康弘



ワクチン接種なぜ混乱（一般質問）

ワクチン接種を希望する車椅子・寝たきりの方・弱者が取り残されないよう求め質問しました。

市長回答

他市町村を参考に準備したが、想定を上回り電話・インターネットのつながらない状況だった。特設会場では、車椅子の準備や係員を配置している。福祉乗車券交付も検討している。65歳未満の接種には、いままでの反省のもと円滑に行えるように準備する、との回答。

前沢診療所の存続を

令和3年3月、新市立病院建設（案）「衣川診療所を無床化し、水沢病院・まごころ病院・前沢診療所を廃止して、新市立病院に統合する」が示された。



存続が求められる前沢診療所

理由は、医師不足による患者数減少に歯止めがかからず、多額の純損失で病院経営が厳しい。しかし、肝心の新市立病院の診療科目、入院病床、病院の立地、建設費はこれから決めるとの事です。医師数は、平成29年34人から現在は21人。患者数は、7万人ほど減少し毎年純損失赤字が続いている。一方、前沢診療所は毎年患者が増え純利益となり黒字です。地域に必要とされ、市民の期待に応えています。統合さえすれば上手くいくなどありません。その上で、前沢診療所の存続を求め一般質問しました。

市長回答

前沢の民間医療提供体制は十分に確保されている。前沢診療所の存続の思いは承知しているが、市立医療機関は再編しないと医師確保できず安定的に医療提供できない。

病院事業管理者回答

市立病院建設地の選定、交通アクセス、利便性は協議中との回答。

私は、前沢診療所の存続は市民の健康と命を守る一番大切なことと考えます。今後も地域に必要とされる医療体制と市の財政を課題に取り組みます。

安心して暮らせる医療機関を残してほしい

廣野富男



去る三月、市は衣川診療所の無床化、まごころ病院、前沢診療所を廃止し、水沢病院、まごころ病院、前沢診療所を統合し、新市立病院を令和5年建設、7年に開院する素案を示した。これを受け、過日、胆沢地域や前沢地域の市民は、まごころ病院、前沢診療所の存続を求める要望書を市長に提出。いずれも、「地域の病院・診療所を無くさないで」、「在宅医療を続けて」、「福祉活動との連携確保を」と求めている。

今6月定例会において、市長の考えを質したが、市長は、市民の心情を理解しつつも、医師や患者数の減少による厳しい経営状況を踏まえると医療提供事業の継続、医師確保が一層困難になるとの再編理由を述べ、8月に市民説明し理解を得たいと期待していた。

要望書を提出した団体は、それぞれの地域で「安心して暮らせるまち」に住み続けられるようにとの

切実な住民の思いや、「おらの病院」は、その地域の住民と共にその地にあってこそ存在意義が発揮されている実態も市長に訴えている。

興奮気味の答弁は、新病院建設見直し派の者には、中心部の水沢病院だけは残したい、公約の新病院の建設は果たしたいとの思いが強く響いてくる。

これまで、江刺区4診療所の廃止案、前沢・衣川診療所の無床化案、そして今回の病院診療所廃止・統合案が提示された。他方では、負担は安く・サービスは高い方への施策から選択と集中へと「変革」し、スマートシティを目指してきた。今の市政は、住民に安心を与え続ける地域医療・介護を築くと言っているものの、周辺部は医療サービスが遠のき、中心部に医師が集中（偏在）している今日の医療問題を自ら誘発していると感じた定例会であった。

以下の陳情書が全会一致で採択されました。

令和3年5月31日

陳 情 書

奥州市議会
議長 小野寺 隆夫 様

安心して暮らせる前沢の医療を守る会
会長 鈴木 秀 悦
(事務局：奥州市前沢古城字川原前 40-1)

新市立病院建設計画（案）の取り扱いと 地域住民への十分な説明を求める陳情

貴職におかれましては市政の更なる発展、市民福祉の向上のために日夜ご尽力いただいていることに対しまして衷心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、3月25日の新市立病院建設調査特別委員会において市側から衣川診療所を無床化し、総合水沢病院、胆沢のまごころ病院、前沢診療所を廃止して3医療機関を統合し、令和7年度中に新市立病院を開院するという計画案が示されましたが、私達前沢地域の住民は寝耳に水で大変驚きました。

ご存知のように前沢診療所は、平成10年に旧前沢町民の健康増進のための健康管理総合センターと介護を必要とする方々や介護予防を包括的に支援する介護センターとを併設して現在地に建設され、以来前沢地域住民に係る保健・医療・福祉・介護全般を担ってまいりました。

一時期医師の退職により休診の時期もありましたが、平成28年4月に現在の鈴木順所長が赴任してからは「思いやりの心をもち身体も心もともに診る、頼れるかかりつけの診療所」のスローガンの下、疾病予防を中心とした健康教室を各地で開催するなど地域包括医療に取り組み、前沢はもとより近隣自治体からも患者が多数訪れるようになり年々患者数が増えており、今後高齢化が進行し医療需要が高まることが予想される状況下において、住民に寄り添う身近な医療機関としての前沢診療所への期待は高まる一方です。

つきましては、今後市から市立医療機関の再編案に係わる具体像が示されるにあたり、前沢診療所の廃止については、議会において十分に議論されるものと確信しておりますが、同時に、市当局による住民への説明責任がしっかりと果たされるようご支援頂きますよう陳情申し上げます。

えさしクリーンパークの存続交渉を至急に 及川 佐



一般質問) いわてクリーン事業団の八幡平市の次期最終処分場建設遅れにより、稼動が2024年度(令和6年)後半になるようだ。来年度えさしクリーンパークの廃止は早すぎるのではないか。それまで最終処分場のリスクだけを地元や市民に負わせるのはおかしいのではないか。

市長回答) 市民等の署名並びに請願採択を重く受け止めており、前進すべく鋭意協議している。できるだけ早急に結論を出したい。

合併検証は市民参画のもと行うべき

一般質問) 合併に関わる資料も奥州市のHPにはない。市民や第三者も含め計画的・総合的に合併検証を行うべきではないか。15年経過しての突然の合併検証・市民アンケート等の実施は、唐突ではないか。

市長回答) 第2次総合計画の後期計画に反映させ、各種施策の成果等の比較のためにも行う。全庁的に対応し、9月下旬には検証報告書を作成し公表し市民懇談会を行う。

「病院診療所改革プラン」の構成(案)

第1章 市立医療施設を取り巻く状況

1. 胆江地域の医療環境(
2. 市立医療施設の現状
3. 概況及び課題の整理

第2章 市立医療施設の今後の方向性

1. 基本的な方向性
 - (1)基本方針
 - (2)市立医療施設の再編
 - (3)医療機能の分化
 - (4)市立医療施設の連携
2. 重点施策への対応
3. 経営の健全化
 - (1)収益確保に向けた取り組み
 - (2)コスト削減に向けた取り組み

4. 新しい体制につなげるための方策

- (1)新体制までのスケジュール
- (2)新病院の建設候補地
- (3)新病院の概要と事業費
- (4)病院間・診療所間の連携
- (5)市民への情報提供と意見聴取
- (6)来院者のアクセス利便性向上の検討

第3章 収支計画

- (1)総合水沢病院の事業収支計画(R3~R7)
- (2)まごころ病院の事業収支計画 //
- (3)前沢診療所の事業収支計画 //
- (4)衣川診療所の事業収支計画 //
- (5)衣川歯科診療所の事業収支計画 //
- (6)新市病院の事業収支計画(R7~R11)
- (7)市立医療施設全体の事業収支計画(診療所含む)(R7~R11)

2021年3月25日新市立病院建設特別委員会資料より

【投稿】議会改革で大躍進

副議長 佐藤郁夫



奥州市議会は、この度早稲田大学マニフェスト研究所が公表した「議会改革度調査2020」総合ランキングにおいて、回答した全国1404自治体中4位となりました。一昨年の58位、昨年の9位からの大躍進で、東北ではトップです。調査は、情報共有、住民参加、機能強化の3分野からなり、中でも機能強化部門では全国2位となりました。

2018年にタブレットを導入し、紙媒体からの脱却を図りましたが、特にも2020年はコロナ禍でこれまでにない議会運営が求められ、タブレットを活用したオンライン会議をいち早く導入。委員会や現地調査までもオンラインで実施したほか、災害時や感染症蔓延時にもいち早く議会機能を正常化するよう業務継続計画も策定しました。また、全国的にはあまり認められていない小さなお子様連れの傍聴ができるように休憩室を設け、規則も改正しています。

更には、二元代表制の観点からのチェック機能だけでなく、市に対してしっかりと政策提言をしたことも評価されています。

議会改革に終わりはありません。常に民意に寄り添い、福祉の向上に邁進する議会を目指し、時代の変化・情勢に応じて改革する重要性を今回の調査で改めて認識した次第です。

奥州みらい通信 NO5

9月定例議会を振り返って

令和3年11月22日発行

発行：奥州市議会 会派 奥州みらい

発行日：2021年11月22日

連絡先：高橋政一 TEL 080-5574-9414

奥州みらい代表 奥州市議会議員 小野寺 重

同 高橋 政一

同 及川 佐

同 廣野 富男

同 千葉 康弘

市立医療機関の再編方針に3件の請願書が 会長 小野寺重



市立医療機関の再編方針に対し以下の請願書が提出されました。

- 1、請願第16号：奥州市国民健康保険まごころ病院の存続を求めることについての請願
- 2、請願第17号：奥州市国民健康保険前沢診療所の存続を求める請願
- 3、請願第18号：奥州市国民健康保険衣川診療所の病床存続を求める請願

この請願が出された背景には、本年3月25日の新市立病院建設調査特別委員会で、市立病院再編案が示されたことにあります。医師数の減少などにより患者数減少に歯止めがかからず多額の純損失が続き、病院経営は厳しい状況であり、市立医療機関全体の再編を含めた抜本的な経営改革が急務となっているからです。

再編案の内容

- 1) 水沢病院、まごころ病院、前沢診療所を統合し新病院を令和7年度開設を目指す。
 - 2) 衣川診療所は新病院への統合を基本に病床は新病院へ集約するが、外来機能は維持する。
 - 3) 設置場所は医療機関の少ない胆沢地域に配慮する。
 - 4) 統合再編後の各医療機関は介護福祉施設などの活用を検討する。
- 尚、医師数、入院患者数、病床利用率、医業損益等今回は割愛しますが危機的状況であると思っています。

請願を出された皆さんの思いは、総合水沢病院の医師の離職により急激に経営悪化が進む中で、地域包括医療や予防医学の面で優れた実績を誇るまごころ病院や前沢診療所を廃止し、市立3医療機関の統合を図る案に対して反対するものでした。

総合水沢病院の経営悪化の原因を論ずることなく、統合案を持ち出したことは納得できるものではありません。加えて今回の統合再編案は、市営の医療機関に限定したものであり、地域医療構想実現に向け必要な県や民間医療機関等との意見交換も不足したまま策定が進められたことです。

小沢市長は、4年前の選挙公約で新市立病院の建設は市民の合意を得て進めますと云っています。また市民合意とは議会で過半数であれば合意を得たとも云っている。議員の中には自分達の近くに病院を建設してもらえばそれで良いとの議員もいます。

今回出された市立病院・診療所改革プランで気になるのは、今まで2病院、2診療所の患者12万人のうち、2/3しか見込んでいないことです。1/3の方々はどこかに行くんだろうとの見込みです。

収支計画は新病院が出来て5年後の令和12年度計画では、一般会計からの繰入金金が12億、その後毎年それに近い繰出金となっています。

また令和12年度末処理累積欠損金65億にもなっています。この状況を見ますとこれが改革プランと云えるものか理解できません。

なお、今回の請願署人数は胆沢で11,573名、前沢で10,116名、衣川で3,031名、それぞれ地区の80%近い署人数です。

病院建設に当たり市民からこんな意見が寄せられました。莫大な財源を投下して取り組んだ結果、医師確保は思い通りに進まず、新病院建設後の維持管理や最新医療機器導入等による経営悪化で赤字に苦しむ姿が浮かび上がります。新病院建設には、もっと身近な医療行政の展開を市民は期待しているのではないのでしょうか。

私もまったく同感です。市長任せではなく皆で考え、行動すべきであると思います。

10月27日胆沢日日新聞より

前沢診療所
院長 所長に署名簿提出
存続の願い現場へ

胆沢日日新聞 10月27日

前沢診療所の存続を求める署名簿を、前沢診療所の院長（右）が、市立病院再編案の反対を表明する。署名簿は、前沢診療所の医師、看護師、事務員、患者、地域住民などから集められた。署名簿は、市立病院再編案の反対を表明する。署名簿は、市立病院再編案の反対を表明する。



署名簿などを鈴木順所長（右）に手渡す住民団体メンバー

前沢診療所の存続を求める署名簿を、前沢診療所の院長（右）が、市立病院再編案の反対を表明する。署名簿は、前沢診療所の医師、看護師、事務員、患者、地域住民などから集められた。署名簿は、市立病院再編案の反対を表明する。署名簿は、市立病院再編案の反対を表明する。

教職員の働き方改革の現状と課題 幹事長 高橋政一



9月議会では、「教職員の働き方改革」について一般質問をしました。岩手県教育委員会では、今年2月に「岩手県教職員働き方改革プラン（2021～2023）」を策定しました。2018年に県が策定したプランの第2弾になります。これは、県立学校の教職員向けになりますが、各市町村教育委員会でも、第2弾に合わせて「小中学校働き方改革プラン」を策定することになります。

県立学校のプランの目標

- 1 月100時間以上の時間外勤務者を令和3年度からゼロにする。
- 2 月45時間超、年間360時間超（土日の部活動従事時間を除いて）を段階的に縮減し令和5年度にゼロとする。

奥州市小中学校の現状（令和2年度）

1	月平均時間外勤務	小学校	約27時間	中学校	約39時間
	月80時間以上時間外勤務	小学校	4.7人	中学校	19.5人（月平均）
	月100時間以上時間外勤務	小学校	4人	中学校	69人（年間）
2	月45時間超の時間外勤務	小学校	985人	中学校	916人（年間）
	年360時間超の時間外勤務	小学校	156人	中学校	136人（年間）

【考察】市内小中学校の時間外勤務は減少傾向にあるものの

- 1 月80時間以上の時間外勤務は過労死ラインと言われています。小中合わせて月80時間以上が年換算で290人、100時間以上が73人いることが問題です。
- 2 月平均時間外勤務時間が平均で小中学校とも45時間を下回っているものの、45時間超の教員が年間900人強から1000人弱もいることは、大きな負担となっています。
- 3 年360時間超の時間外勤務が小中合わせて292人おり、中学校の月平均時間外勤務が約39時間なので、年間平均にすると約468時間となり、全員が360時間超となってしまいます。小学校も平均で324時間となります。
- 4 岩手県教育委員会の目標のように、3年後（令和4年から始めて令和6年）にゼロにするのは並大抵のことではないと考えます。「時間外勤務を問題にするのは、教員には部活動指導の若干の手当はあるが、残業手当はないため」今回は、時間外勤務について載せましたが、教職員が元気で子どもたちに接するためには、職場環境の改善や健康保持の取り組みも必要です。機会があれば、その内容を紹介したいと思います。



安心して暮らせる地域医療を

千葉 康弘



9月定例会も終え、一般質問、特別委員会での論点、主張を述べます。

前沢診療所をはじめとする病院・診療所の統廃合案が示されました。

衣川診療所は外来のみ、前沢診療所・まごころ病院・水沢病院は新市立病院に統廃合する内容です。

新病院の建設場所は胆沢地域に配慮した場所と言うことで、水沢農業高校農場用地（10/18）が示されました。しかし、交通アクセスの悪い場所にどれだけの人が通院できるのか。市の資料では約4万人の人があらたに病院を探さないとなりません。また、前沢診療所周辺に民間医療機関が充実しているから無くても大丈夫との見解です。

私達は、前沢・衣川診療所・まごころ病院の存続を望んでいます。民間医療機関があるから、公立診療所・病院は要らないとはなりません。公立診療所があることで市民の声が医療に反映できます。

地域で何十年もかけつくり上げてきた医療、介護、生活支援に活用している施設を簡単には手放ません。市は、医師数減少と患者数の減少で財政が厳しく、安定的に医療を提供し続けるには必要な再編と言いますが、まず、やるべきことがあります。

一番の問題は、次の点です。

・水沢病院のH30からR2までの医師が半減した退職原因が曖昧なままであること。

